

職員会議（6月22日（木）） 校長より

◎「ありがとう」と言える・言ってもらえる生徒・教職員・学校！

1 「いわき湯本高校」という「新しい風」が吹いております！

※部・委員会活動、学校行事など、いわき湯高生の頑張りを発信していきましよう！

※「一人一人の頑張りが「学校づくり」につながります！（「学校づくり」は「自分づくり」というプロジェクト！）

※「本校舎」の生徒と「遠野校舎」の生徒がともにがんばっています！

○高校体育大会県大会、東北大会（おめでとう！陸上競技部、サッカー部、剣道部、ヨット競技）、野球いわき選手権、Fリーグ、ビーチバレーボール大会、県総体いわき地区大会、各種大会・練習試合・遠征・・・結果も大事、プレー（身だしなみ、振る舞い）も大事！

○吹奏楽部定期演奏会、地区高校前期音楽学習発表会、県高校音楽学習発表会（両校舎の合唱部が校歌を歌い上げました）・・・新しい歴史の幕開けです！

○東北大会壮行会（栄冠を勝ち取った頑張りに感動、全校生のエールに感激）・・・久しぶりの全校生による行事！

○震災学習、遠野校舎で校歌指導・東北大会壮行会・・・両校舎間の交流！

○職業探究（2年）・・・キャリア教育×探究×ICT、フラ体験イベント（3年）・・・SDGs×地域課題探究学習×フラ

○中間考査（3観点を踏まえた問題作成、授業評価アンケート）、3学年平常課外、土曜課外、GTETC、英検、模試（3年）・・・学力向上・進路実現に向

けて、粘り強く！

○就職・公務員ガイダンス、特進クラス集会（2・3年）、科目選択希望調査、進路希望調査、一人一講座、進路講演会（久しぶりの全学年対象の講演会）、1学年進路講演会、2学年進路講演会、大人になるために必要なこと（3年）、3学年PTA、1学年進路講演会・科目選択説明会・・・進路実現に向けて、みんなで力を合わせ、あの手この手で！

○eネット安心講座、いじめアンケート調査、登校時一声運動・マナーアップ運動（PTA）・・・生徒指導はすべての土台！

○学校評議員会、常磐・遠野・田人地区の中学校・高校の校長による懇談会・・・地域に愛される学校づくり！

○学校訪問（教育事務所）・・・日々の取り組みを点検・確認しながら絶えず改善・工夫を！

2 新しい年度がスタートして3か月。ちょっと立ち止まって、この3か月を振り返ってみましょう。「鳥の目」、「虫の目」、「魚の目」で！

※これまでの3か月で感じたこと・・・さはこの丘とあかさかの丘から「新しい風」が吹くのを感じます！いろいろあるが前向きに頑張る生徒！ともに汗と涙を流す先生！愛と青春がいっぱいある学校ですね！

※これからの3か月で大事なこと・・・実りの2学期に向けて、備えあれば憂いなし！夏休みまで1か月を切りました。一人一人の生徒が、1学期をどのようにまとめ、夏休みにどのようにつなげ、夏休みをどのように過ごし、2学期をどのように始めるべきか？

※高いところから・広く（鳥の目）、足もとから・きめ細かに（虫の目）、流れを見ながら・タイミングよく（魚の目）、生徒一人一人の指導・支援をしていき

ましょう！

※これから夏休みまで、県総体地区大会→期末考査→県総体県大会というように、生徒は切り替えをしっかりとしていく必要があります。

※部活を引退した3年生は進路実現に向けて、1・2年生は部活の新体制づくり。新しい環境に適応していくことができるように指導・支援をお願いします。

※メリハリのある指導・支援で、「高校生になる（1年）」「中だるみを吹っ飛ばす（2年）」「学力向上・進路実現（3年）」など、学年ごとの課題に対応していくようにしましょう！

○「勉強に力を入れたい、部活動がんばりたい、そんな自分の得意を伸ばせま  
す！」

- ・「勉強」と「部活動・委員会活動」の両立、「授業」も「学校行事」も一生懸命に
- ・勉強を大切に、部活動・委員会活動・学校行事などに汗を流すことによって、人間力を磨いていく！

○「いわき湯本高校は大学進学から就職まであらゆる生徒の進路の実現を目指  
します」

- ・「学力向上」と「進路意識（目標）」は進路実現の両輪、「生徒指導なくして学習指導なし」「学習指導なくして生徒指導なし」

○「いわき湯本ならではの」の教育と「地域に愛される・選ばれる学校」

- ・「体験入学」、「特色選抜」のなかみ（自分の得意が伸ばせる学校）
- ・アカデミックコースとスペシャリストコースのなかみ
- ・「スポーツ系」、「芸術系」、「医療看護系」のなかみ

- ・「保健・医療コース（教育プログラム）」のなかみ
- ・地域を学びのフィールドとする「探究学習」のなかみ

○地域がいわき湯本高校に期待することは何か？

- 「2つの高校」の伝統を「いわき湯本高校」へ引き継ぐ
  - ・ 県教委「震災と復興を未来へつむぐ高校生語り部事業」
  - ・ 県教委「統合校魅力化発信事業」
  - ・ 生徒会などを中心に、本校舎・遠野校舎の交流を！

3 リスク・マネジメント（悲観的に準備し、楽観的に実行する！）

※「二兎を追う者だけが二兎を得る」（両立、バランス）と「二兎を追う者は一兎をも得ず」（リスク・マネジメント、タイムリーなサポート）

○感染症対策＋熱中症対策を徹底しながら教育活動を保障していきましょう

- ・「感染症対策」は気を緩めず確実に、「熱中症対策」は場面に応じて適切に、「学び」は止めない

○コロナ禍における学校行事の「いわき湯本モデル」づくり→公開文化祭、球技大会、全校応援、全校集会、修学旅行など

- ・ “新しい生活様式”を踏まえた学校の対応レベル1・2・3に応じた実施可能な企画内容や感染症対策などを検討

○不祥事を他人事としてではなく、自らの問題として受け止め、自らの言動をさまざまな視点で見つめ直すことが必要（「信頼される学校づくりを職場の力で」）

○生徒観察、教育相談、心のケア・・・みんなでSOS（生徒から・先生から）

をキャッチ・情報共有

○変化に気づく・見逃さない・声かけ・悩みを抱え込まない・一人で背負い込まない

○特別支援教育コーディネーターと連携しながらSC、SSW、医療・福祉機関などにつながる・つなげる

4 教師の中核の仕事は授業（3つの問い（目標・指導・評価の一体化））

※観点別評価や一人一台端末を含むICTを活用した学びについては、生徒・保護者に丁寧に説明

※「3つの問い」で、日々の授業をブラッシュアップしていきましょう！

○1つめの問い：授業の目標は何ですか？（育成したい資質・能力は何ですか？）

・学習指導要領が示す3つの資質・能力 「知識・技能」「思考・判断・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」

・本校で育成したい3つの資質・能力 校訓「自立」「友愛」「創造」

○2つめの問い：そのために、どのように指導しますか？

・手立て（授業展開、発問、資料、ワークシート、ICTの活用など）

○3つめの問い：授業の目標はどの程度達成できましたか？

・学習の評価、学習のための評価、学習としての評価 ・観点別評価（「知識・技能」「思考・判断・表現力等」「主体的に学習に取り組む態度」）

・育成したい生徒像、育成したい資質・能力の評価指標（ルーブリック）

・スクールミッション（県教委）を踏まえた「スクールポリシー」